

目 次	
1. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について	1
2. スーパーコンピュータの更新に伴う 計算サービスの一時停止について (再掲)	2
3. 平成3年度利用申請の受付について	3
4. 平成4年度利用申請の受付について	3
5. データセット・バックアップ支援ツール MTUNLOADの改訂について	5
6. 平成4年度(前期)ライブラリプログラム開発計画募集について	8
7. 平成4年度公用データベース提供課題, 公用データベース用ソフトウェア開発課題の申請について ...	10

1. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について

1. 利用期限

科学研究費による計算機の利用期限は、1月28日(火)または2月20日(木)までです。また、受託研究費によるものも2月20日(木)までです。

2. ジョブの計算依頼と強制出力

例年1、2月中はジョブが多く当該月内に処理できないことがありますので、早目に計算を依頼してください。特にスーパーコンピュータを利用するジョブについては、スーパーコンピュータの更新のために2月21日(金)から3月3日(火)まで利用できませんので注意してください。

利用期限が2月20日(木)となっている科学研究費及び受託研究費の登録番号のジョブについては、当日までに入力されたジョブはすべて強制出力をします。また、強制出力できなかったジョブやスーパーコンピュータを利用するジョブで処理できなかったものについてはキヤ

ンセル処理しますのでご了承ください。

なお、利用期限が1月28日（火）となっているジョブについては、強制出力およびキャンセル処理は行わないので注意してください。特に科学研究費による利用で計算機利用負担金額を1月末で確定する必要がある方は、必ず1月末までに利用者各自で出力まで終了させるようにしてください。

3. ジョブの負担金キャンセル

ジョブの負担金キャンセルは、1月期限のものは31日（金）、または、2月期限のものは21日（金）までに計算結果を添えてプログラム相談室、または2階受付に調査依頼を行ってください。

なお、連絡所からの利用者で、期日までに間に合わないと思われる方は、あらかじめシステム運用掛までご連絡ください。

4. 利用負担金請求

科学研究費による1月分の利用負担金は2月初旬に、2月分は2月末までに請求処理を行います。また、受託研究費による利用負担金は2月末に一括して請求処理を行います。

利用負担金は校費等での振替え払いはできませんので、利用にあたっては注意してください。

なお、システムで行っている予算管理では、予算が1円でも残っていればセッション、あるいはジョブを受け付けますので結果的に予算オーバーとなることも有ります。充分注意願います。

5. データセットの取り扱い

利用期限切れとなった登録番号のデータセットは、利用期限の翌月8日に消去しますので、必要なデータセットは各自で保存処置を行ってください。

6. マスストレージの取り扱い

利用期限切れとなったマスストレージは利用できなくなります。必要なデータセットは各自保存処置を行ってください。

（システム運用掛 内線2517）

2. スーパーコンピュータの更新に伴う計算サービスの一時停止について（再掲）

このことについて、スーパーコンピュータの更新のために次のとおり計算サービスを一時停止します。

年 月 日	利用者サービス	センター内作業
平成4年 2月20日（木）	スーパーコンピュータサービス終了	

平成4年 2月21日(金) ～	汎用コンピュータ のみサービス *ただし 2月25日は17時以降 および 2月27日は13時以降 全てのサービスを停止し ます	*出力待ちジョブの強制出力作業 及びシステムバックアップ作業 *スーパーコンピュータの入れ替 え作業 *システムの変更作業
平成4年 3月 3日(火)		
平成4年 3月 4日(水)	スーパーコンピュータ サービス開始	

(システム運用掛 内線2517)

3. 平成3年度利用申請の受付について

本年度の利用申請(新規・追加)の受付は、2月29日(土)で、また、科学研究費によ
る利用申請(新規・追加)の受付は、1月25日(土)で締切ります。

(共同利用掛 内線2505)

4. 平成4年度利用申請の受付について

*継続申請について

1. 九州大学を「所属センター」としている場合

平成3年度九大センターを所属センターとしている利用者には、「計算機利用申請書
(継続用)」を1月下旬に送付しますので、引き続き利用される方は、その申請書の説明
を熟読の上、2月1日(土)～3月10日(火)までに継続申請を行ってください。

2. 九州大学を「所属センター」とし、他センターを「第二センター」としている場合

上記継続申請を行い、その継続申請承認書を受理した後、別表の当該センターの受付期
間中に、「SINSEI」コマンドで当該センターへ継続手続きを行ってください。

3. 九州大学を「第二センター」としている場合

所属センターへ継続申請を行った後、所属センターの用意したコマンドで3月19日(木)までに九大センターへ継続手続きを行ってください。

4. UTSシステムを継続利用する場合

上記1. または3. の継続手続きの承認をうけた後、「SINSEI」コマンドで平成3年度最終運用日までにUTSシステムへ継続手続きを行ってください。

*新規・追加申請について

平成4年度新規・追加利用申請の受付開始は3月2日(月)からです。

(別表)

九大センター申請種別利用受付期間一覧

申請種別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
平成3年度新規・追加	～H4. 2. 29	～H4. 3. 19
” 変更・取消	～H3年度最終運用日	～H3年度最終運用日
平成4年度への継続	H4. 2. 1～H4. 3. 10	H4. 2. 1～H4. 3. 19
平成4年度新規・追加	H4. 3. 2～	H4年度運用開始日～
” 変更・取消	H4. 3. 2～	H4年度運用開始日～

他センター申請種別利用受付期間一覧

センター名	申請種別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
北大センター	H3年度新規・追加	～H4. 3. 30	～H4. 3. 30
	” 変更・取消	～H4. 3. 30	～H4. 3. 30
	H4年度への継続	H4. 3. 2～H4. 4. 30	H4. 3. 2～H4. 3. 19
	H4年度新規・追加	H4. 3. 2～	H4. 4. 1～
	” 変更・取消	H4. 4. 1～	H4. 4. 1～
東北大センター	H3年度新規・追加	～H4. 2. 29	～H4. 2. 29
	” 変更・取消	～H3年度最終運用日	～H3年度最終運用日
	H4年度への継続	H4. 1. 25～H4. 3. 11	H4. 1. 25～H4. 3. 19
	H4年度新規・追加	H4. 3. 19～	H4. 4. 1～
	” 変更・取消	H4. 4. 1～	H4. 4. 1～
東大センター	H3年度新規・追加	～H4. 2. 29	～H4. 2. 29
	” 変更・取消	～H3年度最終運用日	～H3年度最終運用日
	H4年度への継続	H4. 2. 1～H4. 2. 29	H4. 2. 1～H4. 3. 19
	H4年度新規・追加	H4. 3. 16～	H4年度運用開始日～
	” 変更・取消	H4. 4. 1～	H4年度運用開始日～

センター名	申請種別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
名大 センター	H3年度新規・追加	～H4. 2. 25	～H4. 2. 25
	” 変更・取消	～H3年度最終運用日	～H3年度最終運用日
	H4年度への継続	H4. 2. 12～	H4. 2. 12～H4. 3. 19
	H4年度新規・追加	H4. 2. 12～	H4年度運用開始日～
京大 センター	H3年度新規・追加	～H4. 2. 15	～H4. 2. 15
	” 変更・取消	～H3年度最終運用日	～H3年度最終運用日
	H4年度への継続	H4. 2. 1～H4. 3. 10	H4. 2. 1～H4. 3. 19
	H4年度新規・追加	H4. 3. 11～	H4年度運用開始日～
阪大 センター	H3年度新規・追加	～H4. 2. 29	～H4. 2. 29
	” 変更・取消	～H3年度最終運用日	～H3年度最終運用日
	H4年度への継続	H4. 2. 1～H4. 3. 19	H4. 2. 1～H4. 3. 19
	H4年度新規・追加	H4. 3. 2～	H4. 4. 1～
学情 センター	H3年度新規・追加	～H4. 2. 22	～H4. 2. 22
	” 変更・取消	～H3年度最終運用日	～H3年度最終運用日
	H4年度への継続	H4. 2. 10～H4. 3. 19	H4. 2. 10～H4. 3. 19
	H4年度新規・追加	H4. 3. 23～	H4年度運用開始日～
	” 変更・取消	H4. 3. 23～	H4年度運用開始日～

<注>詳しくは各センターのセンターニュースを御覧下さい。なお、名大センターはシステム入れ替え作業のため平成4年2月26日(水)～3月3日(火)の間、サービスが休止となります。

(共同利用掛 内線2505)

5. データセット・バックアップ支援ツールMTUNLOADの改訂について

1月20日(月)から標記システムのバージョンアップ版を運用しています。

MTUNLOADは、直接アクセス装置上のデータセットを磁気テープにバックアップするためのジョブ制御文を作成するコマンドで、従来の同じ目的のツールに比べ、バックアップ対象のデータセットを細かく選択できることから、公開以来、比較的多くの利用者に使われてきました。しかし、データセットの選択のために用意されているオペランドの数が多いために、それらを覚えておくことが大変で不便でした。今回、HELP オペランドを追加して手元にマニュアルがなくても使用できるように改訂した他、オペランドの省略値を若干拡張して使いやすようにしましたのでお知らせします。

指定方法

コマンド	オペランド(省略値 指定すべき値)
MTUEX	[Help] [IL]

コマンド	オペランド (省略値 指定すべき値)
	[DATaset(* データセット名リスト)]
	[Volume(PUB* ボリューム名リスト)]
	[DSorg(* データセット編成名リスト)]
	[REcfm(* レコード形式名リスト)]
	[SPace(1- 実際使用量(KB)範囲リスト)]
	[CReate(600101- 作成年月日範囲リスト)]
	[RAnge(-254 選択データセット採用範囲リスト)]
	[CLass(N L)]
	[Mtvolume(999999 M T ボリューム名)]
	[LAbel(SL M T ラベル名)]
	[Position(1 アンロード開始データセットポジション)]
	[DEnsity(4 M T 記録密度)]
	[UNIt(OPNMTA M T 装置名)]
	[INitialize NOInitialize]
	[UNLoad(UNLOAD.CNTL アンロード J C L 出力データセット名)]
	[LOad(LOAD.CNTL ロード J C L 出力データセット名)]
	[DOcumennt NODOcumennt]
	[SYsout(Q ドキュメント出力クラス)]

新設オペランドの説明

Help : オペランドの省略値を知らせ、値の入力をプロンプトする。他のオペランドとともに指定した場合、指定しなかったオペランドに関して、省略値を知らせるとともに値の入力をプロンプトしてくる。C/Rを返答すれば、省略値が採用される。
(Help 以外のオペランドの詳細に関しては、文献 1, 2 を御参照下さい。)

使用例

直接アクセス装置上に存在するデータセットのうち、FORTARN ソースプログラム (*.FORT*) とジョブ制御文 (*.CNTL) を磁気テープへバックアップするためのジョブ制御文を作成する。その際、スペース量が 94 KB 未満、または LOAD.CNTL や UNLOAD.CNTL といった名前のデータセットは除く。また、HELP 指定によって、DATaset、SPace 以外のオペランドに関しては、MTU からのプロンプトに応じて指定することができる。プロンプト行の()内が省略値。? NUMBER(1/2) や ? INITIALIZE (Y/N)- のように、(AA/BB)の形式の場合は、AA と BB の指定のみが有効で AA が省略値となる。

READY

MTUEX DA(*.FORT*!* .CNTL: ^*LOAD*.CNTL) SPACE(94-) HELP

MSG: MTU STARTED. (DATE:91/11/14 TIME:13:45:14 V(V02L03) PID(C0600160))

MSG: FUNCTION OF MTU: 1=UNLOAD DS, OR 2=INITIAL LOAD

MSG: ? NUMBER(1/2)-1 . . . UNLOAD JCL を作成する。

MSG: DS-SELECTION: ? VOLUME(PUB*)- . . . C/R 押下。PUB 上のデータセットを指定。

MSG: DS-SELECTION: ? DSORG(PS!PO!DA)-PS . . . 順データセットを指定。

MSG: DS-SELECTION: ? RECFM(*)- . . . 任意のデータセット書式.
 MSG: DS-SELECTION: ? CREATE(600101-)-911001-- . . . '-' を1つだけ指定すると入力行
 の継続とみなされるので、2つ
 MSG: DS-SELECTION: ? RANGE(-254)- 指定している。次行はC/Rを押下
 MSG: JCL PARM: ? JOB CLASS(N)-
 MSG: MT: ? VOLUME(999999)-MYSAVE
 MSG: MT: ? LABEL(SL)-
 MSG: MT: ? POSITION OF THE FIRST UNLOAD-DATASET(1)- . . . MT の最初から吸い上げ。
 MSG: MT: ? DENSITY(4)- 2 以上を応えると、? INITIALIZE-の
 MSG: MT: ? UNIT(OPNMTA)- 問い合わせはしない。
 MSG: MT: ? INITIALIZE (Y/N)-N . . . MT の初期化はしない。
 MSG: JCL-SAVING DSN: ? UNLOAD(UNLOAD.CNTL)-MYSAVEU.CNTL Help を指定しない時、'N'
 MSG: JCL-SAVING DSN: ? LOAD(LOAD.CNTL)-MYSAVEL.CNTL が省略値で、指定した時
 MSG: DOCUMENT: ? PUT OUT (Y/N)-Y 'Y' が省略値になる。
 MSG: DOCUMENT: ? SYSOUT CLASS(O)-U

MSG: CHECK DS-POSITION , '1'.
 MSG: HIT C.R. WHEN OK ,OR ENTER NEW DS-POSITION-

MSG: MYSAVEL.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(1) VOL(PUB152)
 MSG: PREFIX (B73044A)
 MSG: BIRD.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(2) VOL(PUB143)
 MSG: CAT.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(3) VOL(PUB110)
 MSG: DOG.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(4) VOL(PUB110)
 MSG: ISLAND.FORT INCLUDED IN JCL. DS-POS(5) VOL(PUB126)
 MSG: MYSAVEL.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(6) VOL(PUB152)
 MSG: MYSAVEU.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(7) VOL(PUB126)
 MSG: SEA.FORT77 INCLUDED IN JCL. DS-POS(8) VOL(PUB115)
 MSG: SKY.FORT77 INCLUDED IN JCL. DS-POS(9) VOL(PUB113)
 MSG: SPACE.FORT77 INCLUDED IN JCL. DS-POS(10) VOL(PUB103)
 MSG: U.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(11) VOL(PUB126)
 MSG: PREFIX (B73044A)
 MSG: UU.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(12) VOL(PUB142)

MSG: UNLOAD-JCL WAS APPENDED TO B73044A.MYSAVEU.CNTL
 MSG: LOAD-JCL WAS APPENDED TO B73044A.MYSAVEL.CNTL
 MSG: PLEASE PICK UP DOCUMENT FROM PRINTER.

READY

参考文献

1. 九州大学大型計算機センター広報, Vol.19, No.2, 1986, pp.131-142.
2. 「利用の手引 センターコマンド編」, 1990年2月, pp.49-51.

(ライブラリ室 内線2508)

6. 平成4年度（前期）ライブラリプログラム開発計画募集について

ライブラリプログラム開発計画募集要領（後述）に基づき、標記開発計画を下記のとおり募集します。多数の応募を歓迎致します。

記

1. 応募資格 本センター利用有資格者
2. 応募締切 平成4年2月29日（土）
3. 応募手続 所定の申請書に必要事項を記入の上、ライブラリ室（内線 2508）まで提出する。
（申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してありますので、請求して下さい。）
4. 対象課題 a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
 b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。

なお、開発されたプログラムは、なるべく早い時期にセンターのライブラリプログラムとして登録および公開するものとしますが、これら開発に関する事項の詳細については、次項に示す募集要領を参照してください。

ライブラリプログラム開発計画募集要領

1. 対象となる課題

- a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
- b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。

ただし、次のような課題については原則として認めない。

- i) 一般的な手法が確立されていなくて、研究的性格の強い課題。
- ii) 他センター等のプログラムの書替え・移植において、その作業が極めて容易であると考えられる課題。

2. 公募は年2回（前期、後期）とする。申請された課題は、締切の翌月のプログラムライブラリ委員会（以下、委員会）で審査する。ただし、開発に際し、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として前期に申請し、繁忙期に入る前（11月位）までに開発を終了するものとする。

前期締切：2月末日（開発開始は 4月1日予定）

後期締切：8月末日（開発開始は10月1日予定）

採用された課題は、センターニュースで広報する。

3. 開発者の義務

- i)開発終了後、早い時期にライブラリプログラムとして登録および公開するものとする。
- ii)利用者のための「利用の手引き」を作成する。これを終了報告書として委員会で審議する。
- iii)開発したプログラムの概要あるいはその使用法をセンター広報に掲載する。

4. 開発に係る経費等

- i)採用された課題に対して、ライブラリ開発用の登録番号を割当て、それに係る計算機利用負担金は、センターで負担するものとする。計算機利用負担金の限度額は、申請時の計算時間により別に定める。
- ii)計算機利用負担金以外で開発に必要な旅費、雑費等は、この開発計画による負担の対象とはしないので留意すること。

5. 開発作業

- i)ライブラリ開発は年度毎（4月～翌年3月）とする。開発継続の場合には、十分な資料とともに継続申請書を提出する。
- ii)開発継続の場合にも、完成した範囲内で登録手続きをとることが望ましい。
- iii)同一課題での継続は、原則として3年までとする。

6. その他

- i)申請書に不明な個所があったり、申請計算時間が過大であると思われる場合や、開発経過が不首尾であると考えられる場合は、委員会にて口頭説明を求めることがある。
- ii)サブルーチンまたは関数副プログラムのライブラリの場合、既に登録してあるものと呼び出し名が同一にならないように注意すること。
- iii)オンラインマニュアル（計算機に格納され利用可能なマニュアル）を用意することが望ましい。

申請計算時間と予算額

計算時間（分）	60	120	180	240	300	360	420	480	540
予算額（万円）	10	15	20	25	30	35	40	45	50

（ライブラリ室 内線2508）

7. 平成4年度公用データベース提供課題，公用データベース用ソフトウェア開発課題の申請について

標記申請を下記のとおり受け付けます。公用データベース，公用データベース用ソフトウェア開発課題は，申請されたものの中からデータベース委員会で審議の上，決定されます。公用データベースと認められますと，開発，構築，維持に必要な利用負担金が一部または全額免除されます。

記

1. 申請資格 本センター利用有資格者
2. 申請締切 平成4年2月29日（土）
3. 申請手続 所定の申請書に必要事項を記入の上，データベース室（内線2510）まで提出する。
（申請書はデータベース室に用意してあります。）
4. 対象課題 広範囲の研究者により学術研究上必要とされ，継続的かつ頻繁な利用が見込まれるデータベース，及びデータベース用ソフトウェア

（データベース室 内線2510）
furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp